

ウミネコ留学

薩摩川内市教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(薩摩川内市鹿島町ってこんなところ)

ウミネコ留学は、平成8年度から受け入れを開始し、これまでに331名の児童・生徒を受け入れています。

里親宅で生活をしながら学校へ通う里親留学、家族で移住してくる家族留学、祖父母の元で孫を預かる孫戻し留学を実施しています。

鹿島地域は、渡り鳥である「ウミネコ」の繁殖南限地であり、春に生まれた幼鳥が鹿島で成長し夏に北帰行します。この姿を留学生にオーバーラップさせ、留学生も里親も生涯忘れ得ぬ思い出を残すという意味で「ウミネコ留学生」と名づけられました。

小学校では、少人数学級の特性を生かし、全員に行き届いた学習を行っています。また、地域住民の教育に対する関心は高く、学校行事にも多くの地域住民が協力しています。

海洋体験やウミネコの餌付け体験など、鹿島町の豊かな自然を生かしたたくさんの体験を、地域や、学校、実施委員会で企画しており、様々な体験を通し、心豊かでたくましい子どもの育成に取り組んでいます。

その他にも、令和7年4月には、甑島産の恐竜をはじめとする様々な生き物の化石や骨格標本、岩石等を展示する「甑ミュージアム」が鹿島町内にオープンしました。甑島の調査研究・教育普及の拠点施設で、甑島の大地の成り立ちや太古の生き物たちについて学べます。毎月開催される講座では、化石や地層について楽しく学ぶことができ、子供たちにとっても人気です。

留学生の日々の授業やイベントの様子は鹿島小学校のホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

▼ 留学生の声

【夢に向かって】5年生 兵庫県出身

僕は魚が大好きで、将来漁業の仕事に就くことが夢です。だから、このウミネコ留学に行こうと決めました。

鹿島では釣りをしたり海で遊んだりしました。釣りに連れて行ってもらった時は、たくさんの魚を自分の目で見るのができてうれしかったです。釣りの「しかけ」の作り方や真鯛の養殖について教えてもらいました。また魚のさばき方を教わったり、魚料理を作ってもらったりしました。

鹿島にきて自分の大好きな魚のことをもっと好きになり、夢に近づいた気がします。

他には友人と海遊びしたことが良い思い出です。この鹿島での思い出を胸に、夢に向かって頑張ります。

▼ 費用負担・補助等

- ・ 里親への委託料は月額7万円であり、そのうち市が月額3万5千円補助し、実親の負担は月額3万5千円です。
- ・ 家族・孫戻し留学については、市が月額3万5千円補助します。
- ・ 傷害保険料は、市が1/2補助し、実親が1/2負担します。
- ・ 給食費・教材費・学用品などの経費は、実親の負担となります。

▼ 条件

受け入れる児童生徒は以下のとおりとし、11月末（延長する場合あり）までに申込書を提出した者で、受け入れ前に鹿島町にて面接を行い、実施委員会で承認された者。

- 1 地域の環境を理解し、就学を希望する児童・生徒。
- 2 第二のふるさとを求め、鹿島の大自然の中で豊かな思い出を作ろうとする児童・生徒。
- 3 少人数教育でしっかり学び、学力を伸ばしたい児童・生徒。
- 4 小学校1年生から6年生までの児童（里親は2年生から、孫戻しと家族留学は1年生から）
- 5 小学校に留学し、中学校まで延長したい児童・生徒。ただし、小学生を優先する。
- 6 中学校からの新規留学は認めない。
- 7 募集期間は、毎年7月1日～11月30日まで。
- 8 募集人員は13名。

▼ 学校規模・学校の主な行事

○鹿島小学校 ※令和7年4月1日現在
・児童数22名 ・職員数6名

○主な行事

こいのぼり集会、小・地域合同大運動会
学習発表会

☆学校 HP

<http://www.edu.satsumasendai.jp/kashima-e/>

○里中学校 ※令和7年4月1日現在

・生徒数39名 ・職員数12名

○主な行事

体育大会、文化祭

☆学校 HP

<http://www.edu.satsumasendai.jp/sato-e/>

▼ 問合せ・アクセス

薩摩川内市教育委員会 飩島教育課 鹿島駐在
(飩ミュージアム内)

TEL:09969-4-2211 FAX:09969-4-2672

